



○ 24日(土)は、串高関東同窓会に参加しました。

当日は46人が東京駅近くのお店に集結しました。参加卒業生の最高齢は昭和14年生まれの86歳。皆さん、お元気でした！若造の私を、皆さん方は温かく迎えてくださいました。ありがとうございました。(HPを紹介しましたが、ご覧になっているかな?)

私からの学校現況説明では、生徒作成の動画も紹介。いきいきとした生徒の様子に皆さんは喜んでいらっしゃる様子でした。



日頃は遠く郷里を離れていても、母校の

ことはやはり気になられるのでしょうか。様々な分野で活躍されてきた先輩方のそれぞれの経験に裏打ちされた考え方に触れ、串高への熱い思いを受けながら、懇談ははずみました。

始業式や入学式での私の式辞とも関連しますが、若かりし頃(今もなお)、「大きなスケールになりたい自分を思い描」いてきた(いる)先輩たちという印象をもちました。近年、串高から関東方面に進学・就職する生徒は少数派ですが、該当者にはこの会の存在をぜひ知っておいてほしいと思います。参加すると、大先輩たちからきっとかわいがってもらえますよ。また、何か困った場面では、きつとこの人脈が頼りになるはずです。

さて、今週は全国校長会等でほとんど不在だったため、学校の近況を紹介できません。学んできたことの一部ですが、「社会経済の先行きと就職観の変化」について、情報提供します。

- 人口減少・少子高齢化, グローバル化 → 従来は「よそ者」扱いだっただ者とも協働する時代に。これからはパートナーはどこにでもいるという発想が必要となる。
- 多様性・包摂の重視 → 多様性を認めるだけでなく、これからは誰もが活躍する機会がある社会や組織が作られねばならない。
- 社会の急速なデジタル化 → これからはAIが代替しやすい職種の雇用が減る一方で、代替しづらい職種や技術系の雇用, 人間的・創造的な仕事は残り続けるという傾向に。
- 変化の激化, 不確実性の高まり → 急激な勢いで塗り替えられる技術や知識を上回るスピードで、働き手に投資することが必要になる。また、激しい社会変化により企業は短命化しつつある。
- 現18歳の健康寿命は100歳超と予想される。 → 年金問題。定年の引き上げは今後も続く。従来の終身雇用(人に職をあてる)から、ジョブ型雇用(職に人をあてる)の時代へ。

**変化の激しい時代×人生100年時代**



**まとめ** 右のように雇用の形が変わり、転職が当たり前となれば、その度に新たな適応と学習が必要となってきます。

生涯にわたって主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力を身に付ける重要性が増しています。

インスタ, FBもご覧ください。串木野高校, 頑張っています! (文責 立森)